

【教材名】	【学部】
小さな種	中学部
【教科・単元名等】	【教育課程】
国語	自立活動を主とする教育課程

教材写真



【ねらい】

- ・ 物語への興味・関心を高める
- ・ 対象物を注視する力を高める

【使い方】

- ・ 部屋を暗くし、絵皿後方からライトで照らす。
- ・ 主人公「種」を紙皿の上で動かし、臨場感のある絵本の読み進めを行う。

【工夫した点】

- ・ ページごとに、場面を象徴するイラストをできるだけそのまま描いた。
- ・ ライトで照射した際に筆のタッチが綺麗に浮かぶようにするため、アクリル絵の具を使用した。

[教材名]	[学部]
陶器の音を聴こう②（低めの音） ～陶器の器と陶器がぶつかり合って音が鳴る～	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
音楽	自立活動を主とする教育課程

教材写真



[ねらい]

- ・ 金属製や木製の楽器とは違う、柔らかい音色を聴ける
- ・ 陶器①と②の音色が違うことに気付く

[使い方]

- ・ 陶器2種類（①と②）の音を聴き比べたり、同時に鳴らしたりしながら、音色の違いを感じる。
- ・ 糸の上のパネルに手を置いて軽く揺ると音が出る。糸に直接触れて揺すっても良い。

[工夫した点]

- ・ 陶芸の授業のための試作品を再利用した。
- ・ 軽く触れるだけで鳴らせるようにした。

【教材名】	【学部】
『とりかえっこ』 やり取りパペット・鳴き声カード	中学部
【教科・単元名等】	【教育課程】
国語・数学『とりかえっこ』	知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程

教材写真



【ねらい】

- ・『とりかえっこ』のやり取りを再現する
- ・生徒が『とりかえっこ』を実感することを補助する

【使い方】

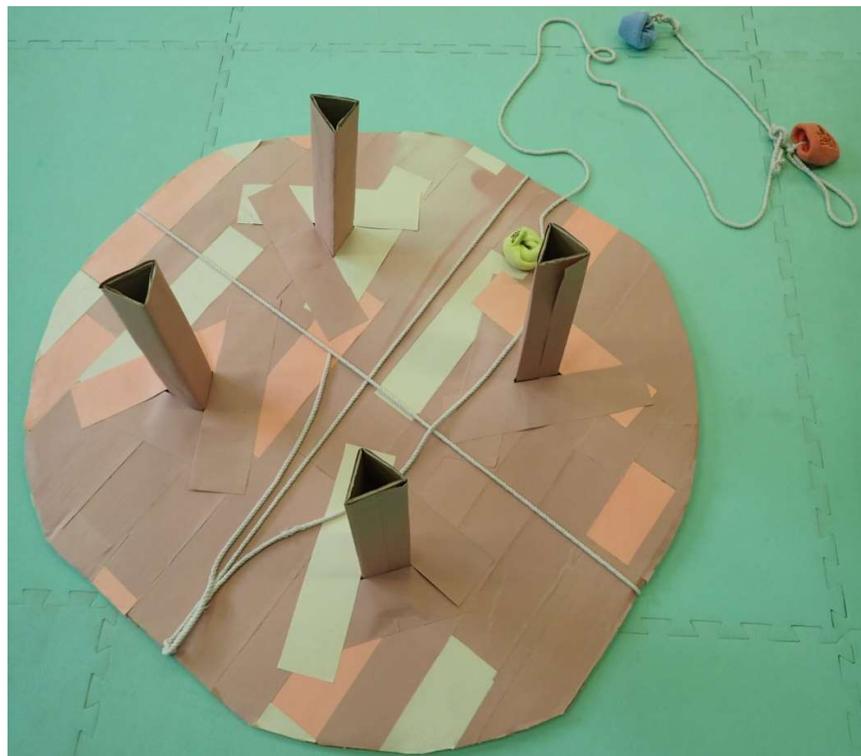
- ・もともとの動物の鳴き声をセッティングする。
- ・生徒同士がやり取りしながら、鳴き声をカードで“とりかえっこ”していく。

【工夫した点】

- ・動物の鳴き声を可視化したこと。
- ・取り外しが簡単にできるような仕様にしたこと。

[教材名]	[学部]
テーブル	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
国語・数学（ごろりんごろん ごろごろ）	自立活動を主とする教育課程

教材写真



[ねらい]

- ・絵本に出てくるテーブルを運ぶ場面を経験し、学習への見通しをもつ

[使い方]

- ・カートに乗せてテーブルを引っ張る。

[工夫した点]

生徒の手に負荷が掛かりすぎないように、リストバンドを付けた。リストバンドの間隔は動かすことができるように工夫した。

[教材名]	[学部]
やわらか竹刀	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
保健体育	自立活動を主とする教育課程

教材写真



[ねらい]

- ・生徒が一人で竹刀を持って、操作する力を高める

[使い方]

- ・必要に応じてゴムに指を通して握る。
- ・周囲の安全を確保し、おもいきり振る。

[工夫した点]

- ・ゴムに指を通すことで、自然と握る形になるようにした。
- ・長さや太さなど複数用意し、生徒にあったものを使えるようにした。

[教材名]	[学部]
気管切開部の水濡れ防止器具	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
保健体育	自立活動を主とする教育課程

教材写真 	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳指導時に、のど元に水がかかっても、気管切開部が濡れないようにする
	[使い方]
	<ul style="list-style-type: none"> ・人工鼻をカバーするように装着する
	[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・中が見えるために透明で、肌と接しても痛くないように柔らかい素材を使った。 ・簡単に付け外しでき、肌に接触しても違和感のない素材でゴムを止めた。 	

[教材名]	[学部]
りんごがドスン	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
国語・数学	自立活動を主とする教育課程



[ねらい]
<ul style="list-style-type: none"> ・物語の再現活動を通して物を持つ、対象物を見る、物から手を放すという認知を高める
[使い方]
<ul style="list-style-type: none"> ・可動式のテーブルに乗せ、使用する。 ・「もぐもぐ」や「しゃりしゃり」というオノマトペでりんごを取る。
[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・少しケバケバした布を使用することで、感触を楽しめるようにした。 ・りんごを取れば芯が現れ、最後は反対側が見えるようにすることで視覚的に「取った」と分かりやすくした。 ・再現活動で動物がりんごの中に逃げることで、りんごの大きさを知ることができるように作成した。

[教材名]	[学部]
光る大仏	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
特別活動	自立活動を主とする教育課程

教材写真



[ねらい]

・自らの動きで大仏の変化をもたらし、光への興味を高める

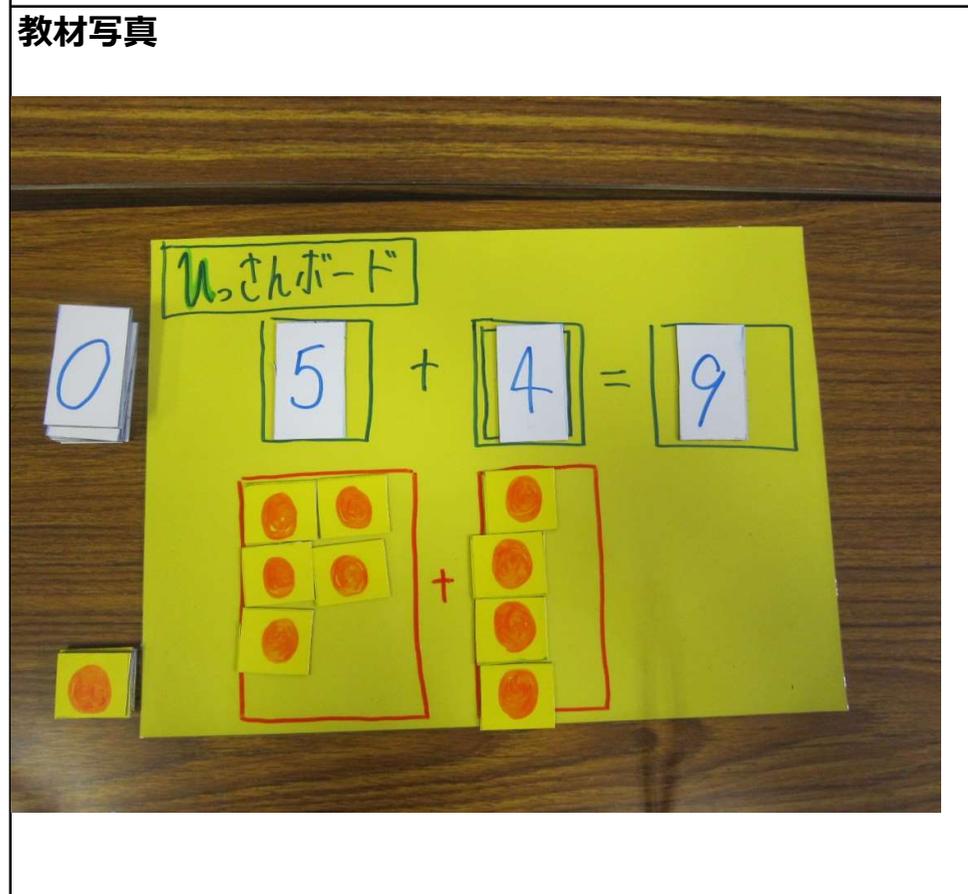
[使い方]

- ・おでこに穴をあけた大仏に光るミラーボールをつなげて、スイッチにつなげる。
- ・スイッチを押すとおでこが光る。

[工夫した点]

ライトが遠くまで見えるように回りをアルミホイルで巻き、反射させた。

[教材名]	[学部]
計算(ひっさん) ボード	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
数学(個別学習用)・計算に強くなるう	知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程



[ねらい]
<ul style="list-style-type: none"> ・一桁の足し算をする力を身に付ける ・10以上の数が分かる
[使い方]
<ul style="list-style-type: none"> ・指定された数字の下に同じ数のイラストを一緒に貼り、いくつかを数える。 ・最後に答えの数字を選択式にし、数字での表現を覚える。
[工夫した点]
<p>移動できる大きさにした。また、白板でもできるようにマグネット対応にし、個別以外に集団でも考えられるようにした。また、選択式以外にも書き込み、消去ができるようにした。</p>

【教材名】	【学部】
さわってみよう、ならしてみよう	中学部
【教科・単元名等】	【教育課程】
自立活動	自立活動を主とする教育課程

教材写真



卵パックの中に、それぞれ異なる中身（米、大きい豆など）が入っていて、振るときの音や感触が異なる。

【ねらい】

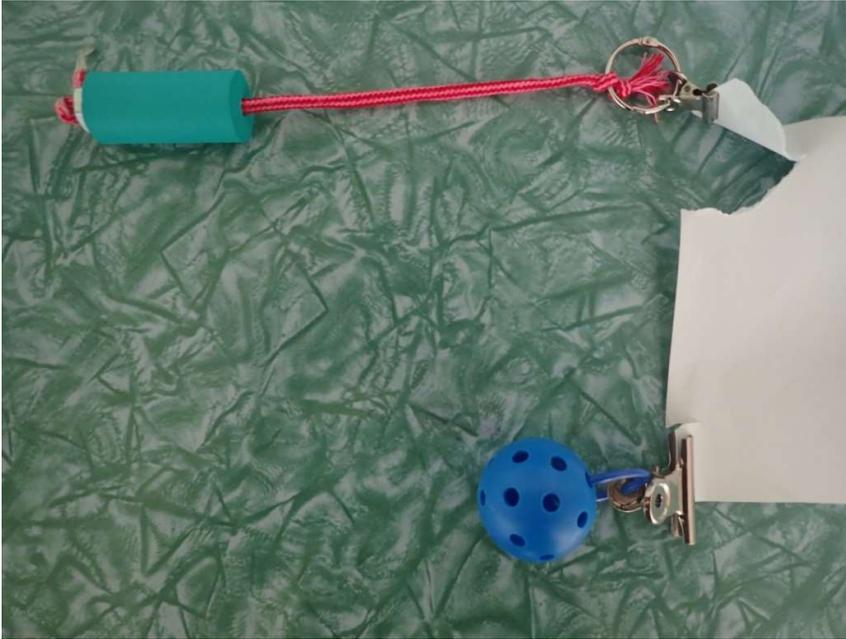
- ・ 様々な手の動きによって得られる感触や音を楽しむ
- ・ 自発的な動きを促し、様々な動きの拡大を図る

【使い方】

- ・ 手元に提示する。
- ・ 手の動きを介助し、刺激に気付かせたり、手の動きを促したりする。

【工夫した点】

固有覚への強めの刺激を好む生徒を想定したので、振って音を出す、つぶす、だけでなく、引っ張って剥がす感覚も楽しめるように、3連にしてそれぞれをマジックテープでつなげた。「色」の学習をする生徒にも対応できるように分かりやすい3色にした。

【教材名】	【学部】
<p style="text-align: center;">紙ちぎり補助具 ペットボトルラベルはがし</p>	<p style="text-align: center;">中学部</p>
【教科・単元名等】	【教育課程】
<p style="text-align: center;">特別活動</p>	<p style="text-align: center;">自立活動を主とする教育課程</p>
教材写真 	【ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指先で挟む操作が難しい生徒に手全体で握る操作で紙ちぎりを可能にできる 【使い方】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端のクリップに紙を挟み、下のグリップ、ボール部を握るようにする。 【工夫した点】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の手の状態に合わせてグリップの形状を二種類用意した。

[教材名]	[学部]
水カンリンバ	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
音楽	自立活動を主とする教育課程
教材写真 	[ねらい] <ul style="list-style-type: none"> ・ 本物の水を使い、水の流れる音への興味を引き出す ・ 缶を支える上肢の操作性を高める [使い方] <ul style="list-style-type: none"> ・ 天板や生徒本人の肩等を利用して、缶の振動や水の流れる音の振動を耳元で感じられるようにする。 [工夫した点] <ul style="list-style-type: none"> ・ 扱いやすいように、短いスチールの空き缶を活用し、必要最小限（4缶）で製作した。

[教材名]	[学部]
棒差し	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
自立活動	知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程

教材写真



[ねらい]

- ・棒を探し、穴に差すことをとおして、位置や方向、順序を学習する
- ・手指の巧緻性を高める

[使い方]

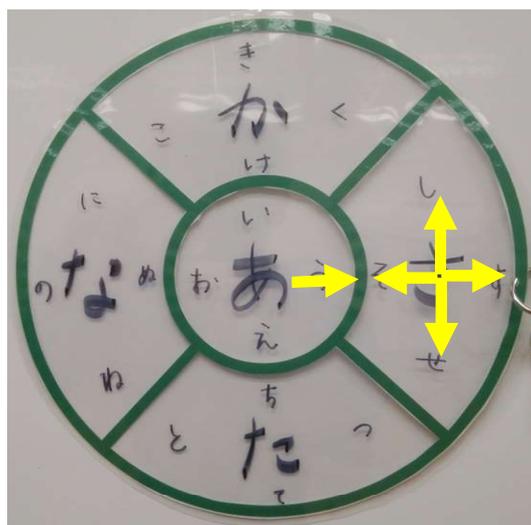
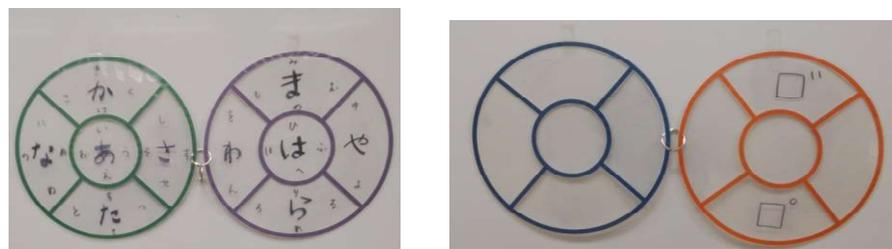
- ・生徒と一緒に棒を持ち、差す感覚を養っていく。
- ・「右から～番目」など方向、順序を指定して棒差しをする。

[工夫した点]

- ・穴に注目しやすいように印を付けた。

[教材名]	[学部]
文字盤	中学部
[教科・単元名等]	[教育課程]
各教科	準ずる教育課程

教材写真



[ねらい]

・視線入力装置を使わずに文字盤を使用し、簡易的にコミュニケーションをとることができる

[使い方]

- ①生徒の視線が真っすぐに向かっている状態で、2つの文字盤のつなぎ目を視線の中心に持って置く。
- ②大きな項目を生徒が顔の向きや視線で選択する。
- ③選んだ項目の真ん中の文字を生徒の顔の中まで持って置く。
- ④再度、生徒が大きな項目から、真ん中、上、下、右、左を選択する。

[工夫した点]

- ・できるだけ生徒の大きな動きのみで、読み手も判断できるよう項目を2段階にした。
- ・スマートフォンのフリック入力を参考に、1枚の文字盤で○行の○と判断できるように文字盤の配置を工夫している。

【教材名】	【学部】
絵本『りんごがドスン』のりんご	中学部
【教科・単元名等】	【教育課程】
国語・数学	自立活動を主とする教育課程

教材写真



【ねらい】

- ・絵本の再現活動を行い、対象物を見る力を身に付ける

【使い方】

- ・絵本を読みながら、りんごが食べられていく様子を表現する。
- ・登場人物になり、りんごを食べる様子を再現する。

【工夫した点】

- ・真ん中を取り外せるようにして、りんごが食べられていく様子が分かるようにした。
- ・上から吊るせるように工夫し、目の前にある様子を体感できるようにした。